

年長組だより



中央区立日本橋幼稚園

1 1学期の子どもの姿を振り返って

好きな遊びの時間♪

年長組での生活が安定し、それぞれが好きな遊びを十分に楽しんでいます。友達と「これしよう!」と言って大型積み木で一緒に場所を作って遊んだり、必要な物を作ってお店屋さんごっこをしたりしています。なかなか遊びが見つからなかった子も、遊びに必要なものを自分で作れたことで自信を付けて自分から遊び出すようになったり、友達に誘われてやっていた遊びで自分に役割をもつことで楽しくなり遊びが続いたりするようになっています。今、目当てに向かうなどじっくりと自分のしたい遊びに取り組んだり、友達と一緒に遊びを進めようとしていたりしながら、思うように作ることが難しいこと、友達と一緒にしているうれしさや思いが伝わらない葛藤など、たくさんのかたちを経験して欲しいと教師も援助をしています。いろいろな関わりをし、様々な感情を味わうことで、自尊心や他者を思いやる心を育てていけたらいいと思っています。

試す楽しさ、工夫する面白さ

じっくりと試したり工夫したりして、遊ぶ時間も大切にしていきたいと考えています。園庭では、砂場、シャボン玉、色水遊びなど、体験を通して、気が付いたり面白さが分かたり、さらに「どうして?」と疑問をもったり考えたことをやってみたりできる場所を用意しています。

砂場では、水の流れに疑問をもって「流れない」→「水をいっぱい流せばいい」→「山から流せばいい」→「川を斜めにすればいい」→「高いところから水を流せばいい」と友達と繰り返し遊んでいました。

色水では、園庭にあるハーブや栽培しているオシロイバナや朝顔などを使って色水遊びを楽しんでいます。初めは、ただ色を出すことが楽しかったのが、今では「このぐらいの濃さにしたい」→「水の調節をしよう」と考えて試す姿になってきました。

シャボン玉は、今年はワイヤーを曲げて自分でシャボン玉製造器を作りました。自分で考えて輪にしたり、形にしたり工夫する姿が見られました。シャボン液を付けて、「なかなかできない」と初めは苦戦していた子も繰り返しワイヤーの持ち方や腕の使い方などコツをつかむと「できた!」「ふわ～ってやるとできた!」と成功して喜びました。「あれ?ハートの形にならないな」「全部丸くなるね」とシャボン玉の形に気が付く子もいました。

子どもたちが「やってみよう!」と感じて取り組み、じっくりと自分で試したり工夫したり、それぞれの性質に気が付いたり面白さを追究したりしていきようにしていきたいです。



ヤッホッホ! 水遊び♪

水遊びは、やっぱり楽しいです。心も体も解放され、動きもダイナミックになります。子どもたちは水鉄砲を持って、友達と水の掛け合いをしたり、的を狙って撃ったり、水遊びの楽しさを味わっています。「キャーキャー」と思い切り遊ぶ中にも、年長らしさがあります。約束の中に「友達が嫌がることはしない」としました。ですから、水を掛ける時に「かけていい?」と聞く場面があったり、洋服の人にはかけない意識があったりしています。少しずつ規範意識や道徳性も芽生えているなと感じています。

今年は限られた水遊びの活動になりますが、この遊びが水遊びの楽しさになり、次年度の期待に繋がっていくといいと思っています。

ぼくたち、わたしたちがやりたい！～当番活動～

教師が、年長組で飼っているカブトムシやザリガニ等のお世話をしていると、興味を見ている様子がありました。昨年の年長さんがしていた当番活動のことを話題に出すと、「(去年の)年長さんは小学校に行っちゃったから、みんなでやりたい！」と張り切っていました。その姿から、年長組になった喜びが伝わってきました。

当初は、カメ当番、生き物当番、カブトムシ当番、水遣り当番、お休み調べ当番のうちから、やりたいものを選んで行っていました。

当番の仕事分担を決める時に、「ぼくがやる!」「私もやりたい!」とやりたい気持ちからもめることもありました。意見がぶつかった時が話し合いのチャンスです!その機会を逃さず、たくさん思いを伝え合って「友達の話を聞く、友達の話を聞いて考える」ことにつながるようにしています。

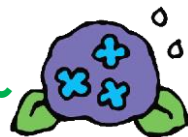
「みんながいろいろな当番ができた方がいい」という話から、当番表を作り、グループごとに日替わりで行うことになりました。

最近、「早く当番をやりたいから、集まって」とグループの仲間を誘って当番を始めたり、「(カメのカーちゃん・おおかみちゃんが)エサを食べているね」と一緒に喜んだり、分からなくて困っていたら教えたり…仲間と声を掛け合い進めることが楽しくなってきました。

憧れていたお休み調べ当番で他のクラスの先生に「ありがとう」と言ってもらうことで年長としての自覚を感じています。また、生き物や栽培物の世話を通して、成長、生長していることに気付き、発見したことを友達と教え合っています。今後は体験を通して、命あるものを大切にする気持ち、思いやりの心を育てていきたいと思っています。

このように、当番活動が、「友達と一緒に力を合わせて進める楽しさ」「人の役に立つ嬉しさ」「年長組になった自信」につながっていくように援助をしていきたいと思っています。

友達と一緒に作ろう!～一緒に作るにはどうしたらいいかな?～



年長組が始まって半月、色々な友達と関わる機会になったらいいなと思い、2人組になって、大きなアジサイを作ることにしました。初めての2人組での制作です。

2人でたくさん話し合って作れるように、アジサイの塗り絵を用意しました。

「2人で分けて塗る?」「ここは〇色にしてもいい?」等、やり取りが増えて楽しんでいました。

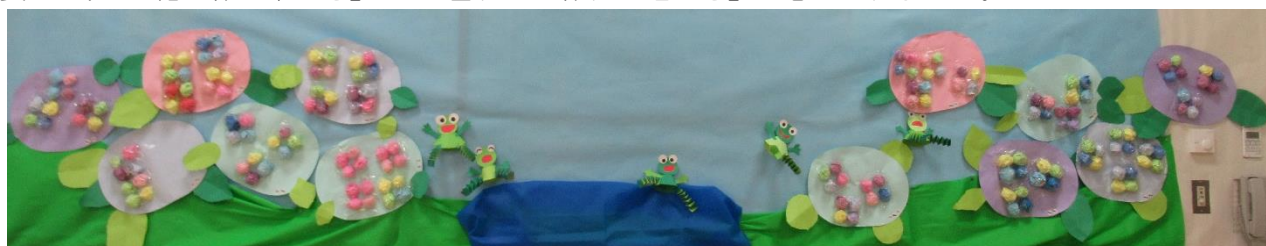
花の部分を、包装紙を丸め、その上からよく揉んだ画用紙で包むのは、根気がいる工程でしたが、コツを伝えたり、頑張る友達の姿を伝えたりすることで、最後まで自分の力で取り組んでいました。

アジサイの額となる、卵パックに花を入れてセロハンテープでアジサイ

に付けました。アジサイの花が入った卵パックは浮いてしまうので1人では貼れません。力を合わせて、「セロハンテープで貼る人と押さえている人」に分かれて貼ると上手くいくことを知らせると…

「貼る係やるね。」「いいよ!」
「じゃあ押さえているね!」「うん。」

力を合わせてできたアジサイが出来上がると、2人で持って嬉しそうに飾っていました。その姿から、「一緒に作る楽しさ」「力を合わせて作れた嬉しさ」が感じられました。



グループでの魚制作

アジサイの制作を経て、先日は、当番活動と一緒に活動している、生活グループの仲間と魚作りを行いました。いつも当番活動を声を掛け合っている仲間なので、安心して自分の思ったことをたくさん伝え合っていました。魚の絵の具を塗る部分を話し合う時に、「ぼくはここがいい!」「私もここが塗りたい」と塗りたい部分と同じになったり、「一人で塗るところを決めないでほしい」と気が付いたことを伝えたり等、言い合う姿がありました。その時に、友達の話を聞いて、どうしたらいいかをみんなで出し合うことで、みんなが納得する方法を決めて作っていました。この活動を通して、友達に思いを伝えたり、思いを聞いて考えようとしたりする経験が積み重なっていることが感じられました。



保育園との交流

昨日は、中央区立十思保育園の年長マジョラム組さんとの、ZOOM 交流をしました。前年度末から、毎学期に一度の交流を予定していましたが、この状況になり担任同士で相談し合い、「何か保育園と幼稚園の繋がりをもてる交流をしたい」とZOOM 交流を行うことになりました。

互いの園のことを知りながら、一緒に〇×クイズをして遊んだり、“エビカニクス”を踊ったりしました。〇×クイズは、画面越しでしたが、「当たった〜!」「違った〜!」しました。あっという間の時間でしたが、離れている中で顔を見合い、一緒に楽しい時間を過ごせたことは、何よりだったのではないかと考えています。

今年度は、例年どおりが通じず、私たち教師も新たな視点でたくさん考える機会があります。生活や遊びに行き詰まった時に、新たな方法を見つけたり試したりしていくことは、子どもも大人も必要なことです。そして、「やってみたらとても楽しかった!」というのも、楽しいことが増えて嬉しいことです。

また時間を見つけて、このような新たな交流も続けていけたらと思っています。



栽培した野菜についてのアンケートに御協力いただきありがとうございました!

「(このジャガイモは) みんなで掘ったんだよ!」「(ジャガイモは) 209個取れたよ」…等

アンケートから、ご家庭でも、持ち帰った野菜を話題にして食べた様子が伝わってきました。子どもたちのジャガイモが掘れて嬉しかった気持ち、気付いたこと等をお家の方に受け止めてもらったり、共感してもらったりする時間はとても大切です。「持ち帰った野菜を使って、一緒に料理をしたら関心もてた」「野菜の絵本でジャガイモのことを調べてみた」というエピソードもいただき、私たちも嬉しくなりました。御協力、ありがとうございました。幼稚園から持ち帰った野菜をきっかけにして、いろいろな野菜に興味をもったり、少し苦手な野菜も食べてみようかなという気持ちをもったりすることで食育につながってほしいと思っています。幼稚園でも育てる楽しさ、収穫の喜びを味わえるよう引き続き援助していきます。

2 5歳児2学期の目標☆

○自信と自覚をもって生活できるようになる時期です。

→この時期に子どもが自分でできることを見極め、自分で生活する喜びを感じられるようにしていきます。

*子どもたちが生活しやすい環境を一緒につくり、自分で考えたり工夫したりができるようにしていきます。

*当番活動も幼稚園のリーダーとしての意欲を大事にし、そこからできることを考えて行っていきます。

○自分の課題に向かって試したり工夫したりできるようになる時期です。

→自分で試し、考えていく、探求心を育てられるようにしていきます。

*「どうして?」を大切に、自分で試し、追求していけるように環境を整え、見守っていきます。子ども自身が考え気付くことを大切にしていきます。

*子どもが遊びの目的に応じて、必要なものを選んで使ったり作ったりする楽しさを味わえるようにしていきます。

*友達の様子が刺激となって、挑戦する気持ちももてるように、励ましながら「こつ」や「タイミング」を伝えていきます。

就学に向けて、基本的な生活習慣をしっかりと自分でできるように！！

毎年、『保幼小の合同研修会』の研修があります。日本橋地区の幼稚園、保育園、小学校の教員が集まり、合同で就学に向けての話や今の子どもたちの実態について話し合う貴重な機会です。最近、言われることは、「まず、学習よりも生活でのつまずきの方が大きい」ということです。自分の身の周りのことをしっかりと身に付けていくことが重要だと改めて実感しています。

・**基本的な生活習慣**…着替え→表にする、たたむ、汗をかいたら着替える、など
食事→姿勢、箸の持ち方、お皿を持つ、いろいろな食材を食べる、など
手洗いうがい、トイレ→身支度を整える、ハンカチで手を拭く など

・**挨拶や返事をする**…「おはようございます」「さようなら」「ありがとう」「ごめんなさい」「いただきます」「ごちそうさま」など。どの場面でも気持ちのよい挨拶ができるようになりましょう。名前を呼ばれたら「はい」と言ったり分かったことや分からなかったことに対して反応したり、はっきりと返事ができるようにしましょう。

・**相手に応じた言葉使い**…正しい使い方がわかり、友達と目上の人との区別をして話ができるようになりましょう。また、単語だけではなく、文章で伝えられるようにしましょう。自分のことを「ぼく」「わたし」と言うことを知りましょう。

・**自分の持ち物の管理や自分の支度は自分で行う**…弁当箱や手紙を自分でカバンから出せるようにしましょう。置き場を決めておくと、習慣がついていきます。

次の日の幼稚園の持ち物を親子で一緒に確認しましょう。**自分で忘れたことに気が付き**、意識がもてるようにしていきましょう。

少しずつ、小学生に向けて、生活を整えていきましょう。小学校の先生から「自分の身の周りこと、自分のものの管理はできるようにしてほしい」と話がありました。大人がやってあげたり先回りして教えたりするのではなく、“自分で必要なことを分かって行うこと”が大切です。小学生になって慌てたりしないためにも、ご家庭で考えていきましょう。

3 夏休みに向けて

日頃できない体験を…自然に触れる、家庭での充実した会話 など

親子で遊びましょう…おうちでラジオ体操（6:30～NHK）、「夏休みのしおり」 など

お手伝いをしましょう…家族の一員として、毎日お手伝いができるようにしましょう。

ex.) 料理の手伝い、おやつ作り（卵を割る、材料を混ぜる、丸める など）、お風呂を洗う、玄関の靴を並べる、など

TPO に気をつけましょう…夏休み中は出かける機会が多くなりますね。公共の場では、周囲に応じた行動ができるようにしましょう！（電車、バス など）

→**保護者が見本になりましょう**…マナーやルールについては、教える必要があります。

まず、保護者がルールを守って、行動するようにしましょう。

→**叱るときの注意!**…「～に怒られるから止めなさい!」などと言うのではなく、子どもがどうしてもいけないのかが分かるような伝え方をしてください。

幼稚園のことを話題に…幼稚園から『暑中見舞い』の葉書を出します。手紙をもらったら返事を書くなどの経験もできるといいですね☆

4 連絡事項

☆健康、安全に注意しましょう。

☆夏休みの思い出は8月24日（月）に担任までご提出ください。



1学期、ありがとうございました！！